

ブロック活動報告書

担当理事名 橋本 文子

【ブロック名】	中国、四国ブロック
【加入校】	23校(2020年3月現在)
【担当者】	ブロック理事:橋本文子(徳島文理大学) ブロック委員:落合のり子(島根県立大学)、時長美希(高知県立大学)、¥芳我ちより(岡山大学) ◎森永裕美子(香川大学) 50音順、◎ブロック委員長、¥ブロック会計担当、()所属名
【活動方針】	新ブロック体制における定例会議・研究会および中国地区・四国地区活動の効果的活動方法を評価検討する。
2019(令和元)年度	
達成目標	1. 保健師教育の現状と課題を共有し、情報交換することにより、会員校教育の質向上にむけた検討をする。 2. ブロックの新体制による運営を評価し、再検討をする。 3. ブロック全体並びに中国および四国の各地区における教員の交流を図る。

1. 中国・四国ブロックにおける定例会議・研究会の開催
日程 2019年9月28日(土)
場所 岡山市 公立学校共済会館ピュアリティまきび
○定例会議 参加者27名(15校)
全保教理事会報告、平成30年度ブロック活動報告、令和元年度ブロック活動計画および予算報告等を行った。また、「厚労省第9回看護基礎教育検討会資料」が公表された直後であり、指定規則改訂に関する各校の現状や今後の取り組みについて情報交換を行った。
○研究会 参加者32名(会員校17校、非会員校3校)
「公衆衛生看護管理を学生にどう教授していくか」をテーマに、大木幸子先生(杏林大学 教授)を講師に迎え、公衆衛生看護倫理をベースとした公衆衛生看護管理の教授方法や授業に対する学生の反応等を講義していただいた。その後、テーマに基づいたグループワークを行った。
2. 第2回研究会
日程 2020年1月10日(金)
場所 松山市総合コミュニティセンター
参加者 約140名(中国四国ブロック会員校からは15校25名)
「第8回日本公衆衛生看護学会学術集会」と共催で開催し、中国・四国ブロックが企画および運営を担当した。テーマは「地域診断を活かした健康まちづくり～保健師活動とまちづくりの連携」で、講師の鵜飼修先生(滋賀県立大学地域共生センター)に、保健師と連携した地域診断法ワークショップの実践例を具体的に講義していただいた。演習や実習等の教育活動に活かせる講演内容であった。研究会は学術集会プレセミナーとして広報したので、学術集会実行委員等の保健師が大勢参加してくださり盛会裏に終えることができた。